

教会 日本語学 園長 徳大寺 加藤 附属 日本 園

# 「宝」胸に学園巣立つ

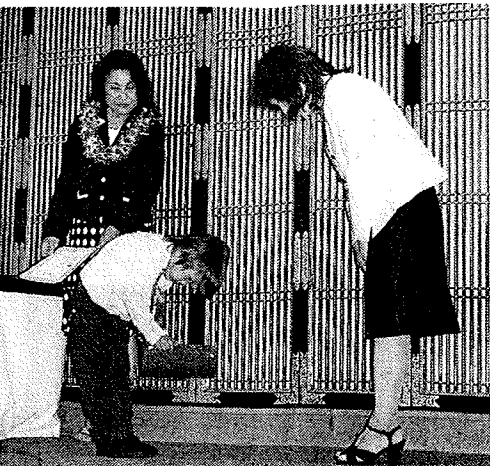
## 71人に卒業、修了証書授与

ガデーナ仏教会付属日本語学園(ホール園子学園長)は19日、同仏教会本堂で2010年度卒業・修了式を行った。卒業、修了証書を手にした生徒らは、日本語、日本文化という「宝」を胸に、多くの思い出が詰まった学園を巣立っていった。

今年、平日部と土曜部の幼稚園、小学部6年生、また土曜部の中学部8年生、高等部10年生、研究科1年(11年生)、研究科2年(12年生)の65人にそれぞれ卒業証書が授与され、土曜部高等部9年生の3人と、池坊華道の随意クラスで学んだ3人には修了証書が授与された。

修了生および卒業生は、来賓、父兄、教師らが見守る中元氣よく本堂に入場。一人ひとりと名前を呼ばれると、大きな声で「はい」と返事をし、壇上でホール学園長から証書を受け取った。また、皆勤賞38人と努力賞者3人にはトロフィーが授与された。

祝辞では、PTCの浜崎ナシール会長が、「日本語の勉強をできるだけ続け、後輩の皆さんに教えてあげてください」とエールを送ると、仏教会の新藤法照・主任開教使は、今まで陰で子供たちを支



ホール園子学園長(右)から卒業証書を受け取る羽根田新大くん

えてきた父兄に敬意を示し、「子供は親の姿を見て育ちます。親が正しい姿を見せ、子供をたくさん褒めてあげてください」と言葉を贈った。また中谷デビット学園理事長は、「教員の協力なくしてはここまでできなかった」とあらためて教師らに感謝。生徒たちには、「一生懸命勉強すれば、素晴らしい将来が待っている」と羽ばたく卒業生らに言葉を贈った。

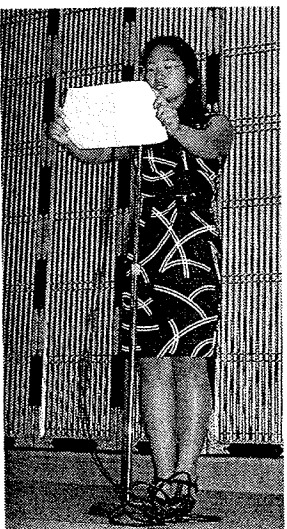


幼稚園卒園生総代のホーン・ミーヤちゃん

在園生総代の浜崎亜矢香さんが送辞で、「卒業後も、日本語という『宝』を持って大きな夢にまい進し、国際人として私たちのよいお手本となってください」と述べると、幼稚園卒園生総代のホーン・ミーヤちゃんが「クラスのお友達と楽しく勉強できてとても良かったと思います。言葉もいっぱい教えてもらいました。先生方、いつも優しく教えてくれてありがとうございます。そして、お

父さん、お母さん、いつも送り迎えをしてくれてありがとうございます。これからもずっと日本のお勉強を頑張ります」と、はきはきと答辞を述べ、本堂からは大きな拍手が沸き起こった。

また、卒業生総代の安東さくらさんは、「学園では日本語のみならず、多くの貴重なことを身に付けることができました。こんな小さかった芽だった私たちに、水と養分と日の光を与えてくださった先生方や両親のおかげで、私はこんな風に立派に成長することができました。この学園で得られた体験をもとに、大生として、社会人として、それぞれの分野でがんばっていききたい」と流ちょうな日本語で述べ、最後に在園生らから



答辞を読む卒業生総代の安東さくらさん

生に対し、「時間を無駄にしないでください。知らない世界を知ろうとすること、辞めないでください」と言葉を贈った。

は、長年における熱心な指導に感謝の声が上がった。卒業生努力賞受賞者は次の通り。(敬称略)  
▽丸山昭彦、石井かれん、内野わかば  
奨学金受賞者は次の通り。(敬称略)  
▽PTC奨学金Ⅱ渡部廣光▽ジャパニーズ・アメリカン・コミュニケーションクレジットユニオン賞Ⅱ桑原正▽日系クレジットユニオン賞Ⅱ安東さくら▽ユニオンバンク賞Ⅱ山中翔太▽カリフォルニア・バンク・アンド・トラスト賞Ⅱエ

### 肉食中毒

匿名希望

結婚して25年になる。家内は肉ばかり食べて野菜を食べない。このことで私は何万回も注意しているが、家内は耳をかさない。野菜を食べないと、体内にコレステロールが蓄積され、動脈や器官が動物性脂肪で閉塞し、糖尿病、ハートアタック、脳梗塞、高血圧、がん、便秘が

### リーバズ社が無料セミナー

#### リタイアメントについて

当日は、快適なリタイアメントについて説明があるほか、米国在住の日本人にとって2005年に発効した日米社会保障協定の及ぼす影響についても解説がある。

出席予約および問い合わせは電話310・320・0588の木村さんまで。

レジーノ・翔子  
【中村良子、写真も】

ソーシャルセキユリティーおよびメディアケアのベネフィットを正しく理解するための無料セミナーが23日(水)午後6時半から8時まで、トリレンス市のリーバズ社で開催される。